

平成 30 年度性教育検討委員会概要

日時 平成 31 年 2 月 28 日 (木) 午後 1 時 30 分～2 時 15 分

場所 市役所 6 階 602 会議室

出席者

性教育検討委員：学校医 4 名、市立病院産婦人科主任部長、産婦人科医師 1 名
市立病院産科看護師長
中学校長 1 名、中学校養護教諭 2 名、教育指導課指導主事 1 名 計 11 名
事務局（学校安全課副課長、保健係員 2 名）計 3 名

会議概要

1 開会

2 あいさつ

学校安全課長が他公務のため省略

3 委員長選出

要項第 4 条 2 項により、学校医部会長 遠藤委員が委員長に選出された。

4 議題

(1) 平成 30 年度の性教育講演会について

委員長：議題 (1) 平成 29 年度の性教育講演会について、事務局に報告をお願いする。
報告を聞いて、今年度の性教育講演会の評価し、生徒の感想や、アンケートを見て、目的を果たしているかどうか審議する。

事務局 (説明)：

急速に進む情報化社会の中で、不確かな性情報の氾濫、また、性に対する関心や性衝動の発見が早期化の傾向にある。そのため、性についての正しい知識の普及を図ることを目的とし、中学校の生徒や保護者を対象に性教育講演会を開催した。

講演会の実施方法としては、昨年度の検討委員会で推薦された講師の中から、中学校からの希望をもとに教育委員会で講師に依頼後、各中学校で講師と打ち合わせをし、講演会を実施した。また、新規の講師には、性教育指導の手引きを配布し、本事業を実施する目的を良く伝えた上で講演会を依頼している。

講演会の開催は、平成 30 年 6 月 19 日から平成 31 年 3 月 1 日までの間に、市内の全中学校で開催を計画し、昨年末時点で 7 校が講演会を終えており、残り 4 校は 2 月及び 3 月に開催している。

それぞれの学校において、命の大切さ、男女の心と体の違い、男女だけではない性、思春期の心と体、妊娠と出産、性感染症やエイズ、医療現場での体験談など学校の希望にそって、講師の先生方にお話いただいた。生徒たちの感想をみると、どの講師も中学校の希望に応じて生徒に語りかけてくださり、生徒たちがそれを真剣に受け止めたことがうかがわれる。

委員長：それでは、平成 30 年度の性教育講演会の評価をしたい。生徒の感想やアンケート

を見て、目的を果たしているかどうかなど、意見をいただきたい。

委員：学校が講師を選ぶ基準について伺いたい。

委員：講師リストを次年度の対象学年担任にはかり、何を伝えたいかを検討して希望を出している。

委員：先生方が実際に各講師の話を聴くかビデオを撮ってみて、選ぶのが良いと思う。

委員：授業の内容は、学校の希望に沿うようにしている。

委員：現場のことは現場が一番知っているので、現場の先生方の意向を尊重したい。

事務局：生徒の感想を読んでいると、家族関係の悩みを訴えるようなメッセージもあり、非常に奥が深い。

委員：生徒の感想は、学校内で先生方が共有されている。そのような感想が出てくともまた、性教育の成果である。

委員：生徒たちは、均一な集団ではない。非常に幼い子どもから危うい感じのする子どもまで、ひとりひとりが違う。義務教育は本当に大変で難しいと思う。

委員：市立病院には、年に数人の若年妊婦が来院している。学校の配慮は大変であろうが、親友だけに打ち明けたつもりが、あっという間にSNSで拡散されてしまう。彼氏は逃げてしまうので、損をするのは女子だ、賢く行動しようという授業をしている。

委員：市立病院の助産師講師は性教育の研修に出している。生徒たちの感想に手ごたえを感じ、嬉しくモチベーションになっている。

委員：駅前の産婦人科には、高校生の妊婦や性病が多く来院している。ひとりひとりに指導しているが、「知っていたけど避妊しなかった」「知っていたけど性病になっちゃった」という高校生が多い。

委員：東京都は、産婦人科医会に性教育を頼んできた。横浜も、今までは医師が絡んでいなかったが、県の産婦人科医会に依頼を出すようになってきている。

委員：内科クリニックに、横浜で一人暮らしを始めて半年で熱が下がらず、親に連れてこられた21歳の女性がいた。検査をしたところ、梅毒であった。

委員：市立病院では、梅毒はまったく珍しくないが、内科の先生が検査で見つけてくださるのはすごい。

委員：性教育が役に立たなかった事例ということになるかもしれないが。

委員：男子に対する性感染症の教育が非常に大事だと思う。先進国では、男子も女子も、全員が子宮頸がんワクチンの接種を受けて、子宮頸がんを撲滅しようとしている。日本だけが取り残されて有病率が上昇傾向である。

委員：他市町村では小田原市のような性教育の取り組みを行っているところは少ない。

事務局：小田原の産婦人科医の先生方が性感染症の恐ろしさを知らせたい、望まない妊娠を防ぎたいという思いからこの事業が始まった。

委員長：様々な意見が出たが、性教育講演会の目的は果たされているという評価でよろしいか。

委員一同：諾

委員長：議題(1)平成30年度の性教育講演会については、目的を果たしていると評価し、終了する。

(2) 平成 31 年度の性教育講演会講師の推薦および今後の方向性について

委員長 : 次に、議題 (2) 平成 31 年度の性教育講演会講師の推薦および今後の方向性について、審議をするが、まず事務局から説明をお願いする。

事務局 (説明) :

教育委員会としては、事業目的を達成するために、今後も医師等の専門職の方に講師をお願いして、性教育講演会をすすめてまいりたい。

来年度の登録は、今年度同様 11 人の講師をお願いしたい。市立病院の助産師の講師は、今年度同様に来年度も登録する方向である。

委員長 : それでは、審議に入る。まず、目的と方法について意見等はないか。

委員一同 : 特になし

委員長 : では、目的と方法については、来年度も従来通りとする。講師について意見はあるか。

委員一同 : 特になし

委員長 : それでは、これで (2) 平成 31 年度の性教育講演会講師の推薦および今後の方向性について、審議を終了する。

(3) その他

委員長 : 議題 (3) その他について、何か意見はあるか。

委員一同 : 特になし

委員長 : 意見も尽きたようなので、それでは、(3) その他について終了する。

以上